

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会

1 事業の趣旨・目的

地域に定住しているインドシナ難民定住者を始めとする外国定住者は、一昨年からの不況により解雇されたり会社が倒産する等失業している人が増加している。ハローワークで次の仕事を探そうとしても日本語が出来ないという理由で再就職も難しい状況である。地域の日本語教室で勉強したい学習者が増加する中退職者や元教員等様々な人材を活用し、それぞれの特色を生かしより実践的な日本語教室を開催することによって日本語力を高め、地域で自立して生活できることを目的とする。

また外国籍の児童・生徒は日常会話には不自由しないが、学習言語を学ぶ機会がないため教科学習に支障を来している。学習言語を学ぶ教室を開催することによって教科学習や学校の授業の理解が進むことを目的とする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
平成 21 年 5 月 27 日 (水)	桜井ひろ子、小林徳子、隈部和子、岡部正忠、千野紀美子、神山明、葛島洋子、宮崎はるみ、与座正子、江尻哲二、池波千恵子、石黒義親、千葉知義、松本典子、松井喜一、長谷川信子	①平成 21 年「生活者としての外国人」のための日本語の教室設置運営事業の事業概要について ②同事計画・予算について ③同事業の実施について	文化庁に申請した同事業の結果等の経緯について、事務局から説明。事業計画・予算が承認された。同事業の実施にあたって注意事項を確認した。
平成 22 年 3 月 19 日 (金)	桜井ひろ子、小林徳子、隈部和子、岡部正忠、千野紀美子、神山明、葛島洋子、宮崎はるみ、与座正子、江尻	①平成 21 年「生活者としての外国人」のための日本語の教室設置運営事業の事業について ②同事業の収支状況につい	事業の実施状況と収支報告を行った。今後の同事業について、継続して実施することになった。

	哲二、池波千恵子、石黒義親、千葉知義、松本典子、松井喜一、長谷川信子	て ③同事業の反省と今後について	
--	------------------------------------	---------------------	--

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 横浜・大和地区親子の日本語教室
- ② 開催場所 大和市渋谷学習センター、横浜市立いちょう小学校いちょうコミュニティハウス
- ③ 学習目標 外国籍児・生徒は教科に出てくる日本語の理解、聞く力や文章理解と基礎学習の定着を図り、保護者は日常会話に加えて学校生活について理解を深めることを目的とする。
- ④ 使用した教材・リソース 漢字だいすき1～6、「あたらしい にほんご—実践研修編—」「たのしい にほんご」、教科書・ドリル・ワークブック等
- ⑤ 受講者の募集方法
横浜市泉区と大和市内の学習センターや小学校等にちらしを配り、学習者を募集した。
- ⑥ 受講者の総数 52人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 40時間 (全 20回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	5月10日(日) 11時～13時	2時間	20人	ペルー・スペイン語 (8人) ベトナム・ベトナム語 (12人)	教授者1人 補助者 17人	親クラス 挨拶、カレンダー、自己紹介、文字の練習 子どもクラス 挨拶、カレンダー、絵本を読む 書く学習
②	5月17日(日) 11時～13時	〃	〃	〃	〃	親クラス 挨拶、カレンダー、自己紹介、文字の練習、みんなの日本語 文型練習帳Ⅰ 子どもクラス 挨拶、カレンダー、絵本を読む 書く学習
③	5月24日(日) 11時～13時	〃	〃	〃	〃	親クラス 挨拶、カレンダー、文字の練習、みんなの日本語 文型練習帳Ⅰ 子どもクラス 挨拶、カレンダー、各学年の国語の教科書の音読、書く学習
④	5月31日(日) 11時～13時	〃	〃	〃	〃	親クラス 挨拶、カレンダー、文字の練

						習、みんなの日本語文型練習帳Ⅰ 子どもクラス 挨拶、カレンダー、各学年の国語の教科書の音読と「かんじだいすき」を使って漢字練習
⑤	6月7日(日) 11時～13時	〃	〃	〃	〃	親クラス 挨拶、カレンダー、漢字練習、行事予定表 子どもクラス 挨拶、カレンダー、各学年の国語の教科書の音読と書き、「かんじだいすき」を使って漢字練習
⑥	6月14日(日) 11時～13時			〃	〃	親クラス 挨拶、カレンダー、漢字練習、行事予定表 子どもクラス 挨拶、カレンダー、各学年の国語の教科書の音読と書き、「かんじだいすき」を使って漢字練習
⑦	6月21日(日) 11時～13時	〃	〃	〃	〃	作文のテーマを決める。口頭

						練習をしてノートに書く。
⑧	6月28日(日) 11時～13時	〃	〃	〃	〃	作文指導
⑨	7月5日(日) 11時～13時	〃	〃	〃	〃	作文指導と発表練習
⑩	7月12日(日) 11時～13時	〃	〃	〃	〃	作文の発表練習、発表会
⑪	7月15日(水) 17時～19時	〃	32人	ベトナム・ベトナム語 30人 中国・中国語(1人)	教授者1人 補助者 17人	子どもクラス 各学年の国語・算数のワークブックと「かんじだいすき」を使って漢字練習 親クラス 挨拶、自己紹介文字の練習、地名等の語彙の読み
⑫	7月16日(木) 17時～19時	〃	32人	〃	〃	子どもクラス 各学年の国語・算数のワークブックと「かんじだいすき」を使って漢字練習 親クラス 挨拶、自己紹介文字の練習、地名等の語彙の読み、年間行事
⑬	7月22日(水) 17時～19時	〃	〃	〃	〃	子どもクラス 各学年の国語・算数のワークブックと「か

						<p>んじだいすき」 を使って漢字 練習 親クラス 挨拶、自己紹介 文字の練習、地 名等の語彙の 読み、年間行事 予定表につい て</p>
⑭	7月23日(木) 17時～19時	〃	〃	〃	〃	<p>子どもクラス 各学年の国 語・算数のワー クブックと「か んじだいすき」 を使って漢字 練習 親クラス 挨拶、自己紹介 漢字練習、地名 等の語彙の読 み、年間行事予 定表</p>
⑮	7月29日(水) 17時～19時	〃	〃	〃	〃	<p>子どもクラス 各学年の国 語・算数のワー クブックと「か んじだいすき」 を使って漢字 練習 親クラス 挨拶、自己紹介 漢字練習、学校 からのお知らせ を読む</p>
⑯	7月30日(木)	2時間	32人	ベトナム・ベトナム語	教授者1人	子どもクラス

	17時～19時			30人 中国・中国語(1人)	補助者 17人	各学年の国語・算数のワークブックと「かんじだいすき」を使って漢字練習 親クラス 挨拶、自己紹介 漢字練習、学校からのお知らせを読む。
⑰	8月5日(水) 17時～19時	2時間	32人	〃	〃	子どもクラス 各学年の国語・算数のワークブックと「かんじだいすき」を使って漢字練習 親クラス 挨拶、漢字練習、学校への連絡の仕方
⑱	8月6日(木) 17時～19時	2時間	32人	〃	〃	作文のテーマを決める。口頭練習をしてノートに書く。
⑲	8月12日(水) 17時～19時	〃	〃	〃	〃	作文指導と発表練習。
⑳	8月13日(木) 17時～19時	〃	〃	〃	教授者1人 補助者18人	発表の練習、発表会

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

・5月10日(日)
子どもクラス

1. 挨拶「これから日本語の勉強を始めます」
2. 個人用カレンダーを使って日付け・天気 of 練習
3. 浦島太郎の絵本を読む。
4. 書く練習

「書く力をつける 低学年(学研)」

・発想の訓練P. 31～33

- ① 口頭でしっかり話させる、正しいモデルを示す。語彙の確認。
- ② 書かせる。
- ③ 書いたものを読ませる、表記のチェック。

親クラス

1. 「はじめましてシート」を聞いて、質問に口頭で答える。
2. 「はじめましてシート」を読んで、答えを書く。
3. 文字(ひらがな、かたかな)の練習
4. みんなの日本語 文型練習帳 I

・8月6日(木)

子どもクラス

作文のテーマ「夢中になっていること」「初めて経験したこと」「来年出来るようになりたいこと」「一番頑張ったこと」等から選んで、その内容について話をしてから、文を書く。

親クラス

自己紹介を口頭で練習し、ノートに書く。

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
斎藤	横浜市立飯田北小学校	教員	3回	学習者の受け付け等

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

子どもの方は学年が多岐に渡っているので、ワークブックを活用して基礎学習等の定着を図った。保護者の方は日常会話の習得を中心に、年間行事予定表等を使って学校に関心を持ってもらうことが出来た。

② 学習者の習得状況

子どもは漢字、国語の文章・算数の文章題の理解、基礎学習の定着を、親は日常会話の

習得に加えて学校生活について理解を深めることが出来た。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

子どもは小学校1年生～6年生まで全ての学年が来ている。また小学校から来ていて、卒業して中学生になっても来ているので、日本語教室が勉強の場だけではなく、地域の居場所にもなっているというところがまたもう一つの成果になっていると思う。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

地域の小学校と連携し、日本語の学習が必要な学習者の受け付け等を学校にしてもらい、子どもが教室に行きやすい環境を作っていることが大きな成果である。また学習センターでは日本語教室が定期的に使えるよう場所の確保についてバックアップを得られていることも大きな成果である。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

- a. 現状: 学習者の子ども的人数が小学校1年生～6年生と中学生がいて、その中には日本語がまだゼロに近い子など様々である。また日本語教室の活動場所も地域によって非常に取りにくい。
- b. 今後の課題: 学年も多岐に渡り、子どもの学習者の人数も多いので、それに対応できる講師・ボランティアの確保と学習内容の充実を図りたい。
- c. 今後の活動予定, 展望: 来年度も引き続き活動を続けていく予定である。

③その他参考資料

3 日本語教室の開催について

- ⑨ 日本語教室の名称 インドシナ難民定住者を対象とした日本語教室
- ⑩ 開催場所 横浜市立いちょう小学校いちょうコミュニティハウス、大和市保健福祉センター、綾瀬市中央公民館、援助協会事務所
- ⑪ 学習目標 日本語でコミュニケーションが取れるようになり、日常生活で必要な情報が取れるようになることを目的とする。
- ⑫ 使用した教材・リソース みんなの日本語Ⅰ、Ⅱ、はじめまして、日本語で話そう、すきなもの・すきなこと等
- ⑬ 受講者の募集方法
(財)大和市国際化協会発行の機関紙や情報紙に教室情報を掲載したり、社会福祉協議会等を通じて募集した。
- ⑭ 受講者の総数 335人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑮ 開催時間数(回数) 1250時間 (全 125回)

⑩ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	5月2、3、9、10、11、16、17、18、23、24、25、30、31日 10：00～12：00、14：00～16：00	130時間	335人	ベトナム・ベトナム語（237人） カンボジア・カンボジア語（79人） ラオス・ラオス語（19人）	補助者75人	日常生活に必要な日本語の会話の習得、入管・市役所・学校等の書類の記入の仕方①
②	6月1、6、7、8、13、14、15、20、21、22、27、28日 10：00～12：00、14：00～16：00	120時間	335人	”	”	”②
③	7月4、5、6、11、12、13、18、19、25、26、27日 10：00～12：00、14：00～16：00	110時間	335人	”	”	”③
④	8月1、2、3、8、9、10、22、23、24、29、30日	110時間	335人	”	”	”④
⑤	9月5、6、7、12、13、14、19、20、26、27、28日 10：00～12：00、14：00～	110時間	335人	”	”	”⑤

	16 : 00					
⑥	10月3、4、5、 10、11、17、 18、19、24、 25、26、31日 10 : 00~12 : 00、14 : 00~ 16 : 00	120 時間	335 人	”	”	日常生活に必要な日本語の 会話の習得、入 管・市役所・学 校等の書類の 記入の仕方 ⑥
⑦	11月1、2、7、 8、9、14、15、 16、21、22、 28、29、30日 10 : 00~12 : 00、14 : 00~ 16 : 00	130 時間	335 人	”	”	”⑦
⑧	12月5、6、7、 12、13、14、 19、20、21日、 10 : 00~12 : 00、14 : 00~ 16 : 00	90時 間	335 人	ベトナム・ベトナム語 (237人) カンボジア・カンボジ ア語(79人) ラオス・ラオス語 (19人)	補助者75 人	”⑧
⑨	1月9、10、16、 17、18、23、 24、25、30、 31日 10 : 00~12 : 00、14 : 00~ 16 : 00	100 時間	335 人	”	”	”⑨
⑩	2月1、6、7、 8、13、14、15、 20、21、22、 27、28日 10 : 00~12 : 00、14 : 00~ 16 : 00	120 時間	335 人	”	”	”⑩
⑪	3月1、5、6、	110	335	”	”	”⑪

8、13、14、20、 21、27、28、 29日 10:00~12: 00、14:00~ 16:00	時間	人			
--	----	---	--	--	--

・
・
・

⑰ 特徴的な授業風景（2～3回分）

・10月25日（日）パーティーをして、友達を家に招きましょう

導入 友だちの家へ行くとき何を持って行くか聞く。

→花です。お菓子です。テキーラです。・・・・

ます形 ⇒ て形 に変える練習（てもいいですか）

友達を家に招く。（おじゃまします／失礼します）

（い形容詞・な形容詞・動詞） + そうですね

表記の練習と確認。

・12月12日（土）年賀状を書く

導入：年賀状の実物を見せながら、年賀状をもらったことがあるか、また書いて出したことがあるか聞く。

例文のサンプル（友人、目上の人、職場の人）を読む。

手紙文の構成を説明する。

実際に書いてみる。（縦書きや宛名・住所の書き方等を練習する。）

各自書いたものを読んでもらう。（間違っていないか確認する。）

清書をする。

⑱ 支援者の名簿（⑦以外）

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
桜井 ひろ子	かながわ難民定住 援助協会	日本語教育能力検定 試験合格	2回	事務局
與座 徳子	〃		2回	〃

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

いつもの授業に加えて七夕や年賀状の作成等日本文化や年中行事を取り入れたカリキュラムを作り、より実践的な内容となった。

② 学習者の習得状況

年度当初は学習者が大勢来て落ち着いて勉強できる環境ではなかったが、年度の後半になると徐々に落ち着いてきた。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

今迄来ている学習者に加え新しい学習希望者が多くなった。中でも家族呼び寄せの若いベトナム人が多く来所し、入門クラスの需要が増えた。

⑥ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

地域の社会福祉協議会との連携により、学習者の紹介等日本語教室をサポートしてくれたことは大きな成果だった。

⑦ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

- a. 現状:日本語ボランティアの不足が深刻である。また日本語教室を開催するにあたり、借室料がかかったり、地域の公民館等を使うことが多いので場所の確保も困難である。
- b. 今後の課題:若い人を含めた日本語ボランティアを増やし定着することが課題である。
- c. 今後の活動予定, 展望:今後も継続して活動する予定である。

③その他参考資料

3 日本語教室の開催について

- ⑮ 日本語教室の名称 退職者・元教員等を活用した日本語教室
- ⑯ 開催場所 海老名市総合福祉会館、大和市青少年センター、平塚市中央公民館・横内公民館、平塚市市民活動センター、茅ヶ崎市女性センター
- ⑰ 学習目標 日本語でコミュニケーションが取れるようになり、履歴書の書き方、電話の応対・面接のやり方等社会生活上必要な日本語力をつけることを目的とする。
- 21 使用した教材・リソース はじめまして、はじめよう日本語、すきなもの・すきなこと、楽しい読み書き、日本語で話そう、みんなの日本語等。
- 22 受講者の募集方法
市役所からの紹介、(財)大和市国際化協会、社会福祉協議会を通じて募集した。
- 23 受講者の総数 356人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- 24 開催時間数(回数) 1970時間 (全 197回)

25 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
①	5月1、4、7、10、11、13、14、17、18、20、21、24、25、28、31日 10:00~12:00、14:00~17:00、18:30~21:00	150時間	356人	中国・中国語(99人)、台湾・台湾語(2人)、フィリピン・タガログ語(52人) ブラジル・ポルトガル語(45人)、ボリビア・スペイン語(30人)、ペルー・スペイン語(22人) タイ・タイ語(15人)、インドネシア・インドネシア語(15人) 韓国・韓国語(20人)、ベトナム・ベトナム語(28人)、カンボジア・カンボジア語(13人) インド・ヒンドゥー語(8人)、パキス	補助者81人	日常生活に必要な会話や読書の習得等①

				ンタン・パキ スタン語 (7 人		
②	6月 1, 3, 4, 5, 7, 8, 10, 11, 12, 14, 15, 17, 18, 19, 21, 22, 25, 26, 28, 29日 10:00~12:00、14:00~17:00、 18:30~21:00	200 時間	”	”	81人	”②
③	7月2, 3, 5, 6, 8, 9, 12, 13, 15, 16, 19, 20, 23, 24, 26, 27, 30, 31日 10:00~12:00、14:00~17:00、 18:30~21:00	180 時間	”	”	”	”③
④	8月2, 3, 5, 6, 7, 9, 19, 20, 21, 23, 24, 27, 28, 30, 31日 10:00~12:00、14:00~17:00、 18:30~21:00	150 時間	”	”	”	”④
⑤	9月2, 3, 6, 7, 9, 10, 13, 14, 16, 17, 18, 20, 21, 24, 25, 27, 28日 10:00~12:00、14:00~17:00、 18:30~21:00	170 時間	”	”	”	”⑤
⑥	10月1, 2, 5, 7, 8, 9, 11, 12, 14, 15, 16, 18, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 29, 30日 10:00~12:00、14:00~17:00、 18:30~21:00	200 時間	”	”	”	”⑥
⑦	11月1, 2, 4, 5, 6, 8, 9, 11, 12, 13, 15, 16, 18, 19, 20, 22, 23, 26, 27, 29, 30日 10:00~12:00、14:00~17:00、 18:30~21:00	210 時間	”	”	”	”⑦
⑧	12月1, 2, 3, 5, 6, 8, 9, 10, 12, 13, 15, 16, 17, 19, 20日 10:00~12:00、14:00~17:00、	150 時間	”	”	”	”⑧

	18 : 30~21 : 00					
⑨	1月6、9、10、12、13、14、16、 17、19、20、21、23、24、26、27、 28、30、31日 10 : 00~12 : 00、14 : 00~17 : 00、 18 : 30~21 : 00	180 時間	”	中国・中国語 (99人)、台 湾・台湾語(2 人)、フィリ ピン・タガロ グ語(52人) ブラジル・ポ ルトガル語 (45人)、ボ リビア・スペ イン語(30 人)、ペル ー・スペイン 語(22人) タイ・タイ語 (15人)、イ ンドネシ ア・インドネ シア語(15 人) 韓国・韓 国語(20 人)、ベトナ ム・ベトナム 語(28人)、 カンボジ ア・カンボジ ア語(13人) インド・ヒン ドゥー語(8 人)、パキス タン・パキ スタン語(7 人	81人	”⑨
⑩	2月2、3、4、6、7、9、10、13、 14、16、17、18、20、21、24、25、	180 時間	356人	”	”	日常生 活に必

	27、28日 10:00~12:00、14:00~17:00、 18:30~21:00					要な会 話や読 み書き の習得 等 ^⑩
⑪	3月2、3、4、6、7、9、10、11、 13、14、16、17、18、20、21、24、 25、27、28、31日 10:00~12:00、14:00~17:00、 18:30~21:00	200 時間	”	”	”	” ^⑪

・
・
・

26 特徴的な授業風景(2~3回分)

・10月1日(木)自治会のお知らせを読む

導入:今住んでいるところの自治会に入っているか、また市の広報や回覧版を見たり読んだことがあるか聞く。

「断水のお知らせ」の中に出てくる語彙の導入と確認。

文型(~てください、可能性があります、ことがあります)の導入。

「断水のお知らせ」の内容の確認と質問。

・3月6日(土)仕事・就職:履歴書の書き方等について

導入:それぞれの国での就職試験のやり方、履歴書・面接のやり方等について話す。また母国での経験談も聞く。

履歴書の語彙の確認、記入例を読んで説明。

記入例を参考にして、実際に日本語で書いてみる。

各自書いたものを見て、内容の確認をする。

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
桜井 ひろ子	かながわ難民定住 援助協会	日本語教育能力検定 試験合格	2回	事務局
與座 徳子	”		10回	事務局

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

日常会話の習得に加えて、履歴書の書き方や電話の対応・面接の仕方等実践的なカリキュラムを組むことが出来た。

② 学習者の習得状況

年度当初は学習者が増えてその対応に苦慮したが、徐々に落ち着いてきた。それに比例して学習者の理解度も進んだ。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

不況で解雇されたり失業した学習者が地域の日本語教室に来るようになり、退職者や元教員を活用して実践的な教室が出来たことは大きな成果だった。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

市役所や地域の社会福祉協議会、国際化協会と連携することによって、教材のリソースの提供等地域の実情にあった情報提供が教室を通じて出来たことは大きな成果だった。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

- a. 現状 学習者に役に立つ情報を提供するには、その地域の情報を集め教材等を独自に作り検討していかなければならない。そのためには時間と活動費用がかかるので、そのための支援がないと苦しいのが現状である。
- b. 今後の課題 教室の場所の確保と日本語ボランティアの増員。
- c. 今後の活動予定, 展望 今後も引き続き実施していく予定。

③その他参考資料

3 日本語教室の開催について

- 27 日本語教室の名称 外国籍児童・生徒を対象とした学習言語を学ぶ日本語教室
- 28 開催場所 横浜市立飯田北小学校、横浜市立いちょう小学校いちょうコミュニティハウス、援助協会事務所
- 29 学習目標 学校生活に必要な日本語・教科学習に必要な日本語の習得を目的とする。
- 30 使用した教材・リソース かんじだいすき、読解トレーニングドリル、国語・算数等の教科書とドリル等
- 31 受講者の募集方法
市・区役所、地域の小・中学校からの紹介等。
- 32 受講者の総数 34 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- 33 開催時間数(回数) 366 時間 (全 61回)

34 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	5月1、4、8、11、15、18、21、25、29日	54時間	34人	ベトナム・ベトナム語（27人） 中国・中国語（2人）、 ペルー・スペイン語（5人）	補助者26人	小・中学校の教科書やドリル等を使った学年別の教科の基礎学習①
②	6月3、6、10、13、17、20、24、27日	48時間	〃	〃	〃	〃②
③	7月1、4、8、11、15、18、22、25、29日	54時間	〃	〃	〃	〃③
④	8月1、5、8、12、15、19、22、26、29日	54時間	〃	〃	〃	〃④
⑤	9月2、5、9、12、16、19、23、26、30日	54時間	〃	〃	〃	〃⑤
⑥	10月3、7、10、14、17、21、24、28、31日	54時間	〃	〃	〃	〃⑥
⑦	11月4、7、11、14、18、21、25、28日	48時間	〃	〃	〃	〃⑦

特徴的な授業風景（2～3回分）

・7月18日（水）

1. カレンダーで今日の日・曜日の確認
2. 生活言語の定着（助数詞等）
3. 時計の読み方
4. 足し算・引き算・九九の定着
5. 絵本の読み聞かせ

・11月18日(水)

1. カレンダーで今日の日がち・曜日の確認
2. 生活言語(果物・野菜等)の定着
3. 文字の定着(ひらがな・カタカナ・漢字)
4. 音読:各自のレベルに合わせた絵本の音読
5. 絵の分析:絵を良く見るようにすることで、絵に関する質問に対し何となく答えるのではなく、理由付けのある発言が出来ようになることを目指す。
6. 絵本の読み聞かせ

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
桜井 ひろ子	かながわ難民定住援助協会	日本語教育能力検定試験合格	2回	事務局
與座 徳子	〃		2回	〃

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

教科に出来るようになる日本語の習得と基礎学習の定着に重点を置いてきたので、概ね達成出来た。

② 学習者の習得状況

個々の学習者の日本語の習得状況や理解度が違うので、学習の定着を図るために個別対応が多くなった。そのため学習の理解も進んだ。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

個別の学習項目の定着は学校の授業だけでは困難なので、読み聞かせや基礎学習を含めた教室を実施出来たことは大きな成果だった。

⑩ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

地域の小・中学校の先生と連携を密に取ることが出来たので、個々の学習者を細かく把握することが出来た。

⑪ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

- a. 現状 個々の学習者の日本語の習得状況や理解度が違うので、個別対応が多くなる。また学習者に興味を持ってもらえる内容や教材作りが常に必要になる。
- b. 今後の課題 個別対応が増えているので、ボランティアの増員が急務である。
- c. 今後の活動予定、展望 今後も引き続き継続して実施する予定。

③その他参考資料